



集落営農法人だより

「令和4年度5県(島根・大分・高知・広島・山口)集落法人等連絡協議会サミット」を開催しました。

令和4年11月8日(火)13:30より山口市湯田温泉のKAMEFUKU ON PLACEをメイン会場に各県サテライト会場をつなぐオンライン方式の併用にて開催しました。(メイン会場出席:201名、オンライン出席:55名、計256名)



中国四国農政局
 柵木次長



県農林水産部
 高橋部長



J A山口県
 金子組合長

本サミットは、集落営農の持続性を高め、より効果的な連携活動を展開するため、各県の法人・関係機関等が会し集落営農法人等が抱える



島根 糸賀会長



大分 坪根会長



高知 竹村会長



広島 高木会長



山口 原田会長

課題やその解決に向けた活動手段を共有する目的で、平成24年より各県が持ち回りで開催しているものです。

ご臨席いただいた柵木環中国四国農政局次長からは、「集落営農組織は構成員の高齢化が進んでおり、組織の将来のあり方について、しっかりと話し合っていくことが重要だ。農林水産省としても地域農業の将来について話し合う『人・農地プラン』の取り組みを更に進めていきたい。」とのご挨拶がありました。

○ 一部【会議】

1 事例発表

県名	演題	発表者
島根	集落営農だからできる 持続可能な農業×地域づくり	(農)ひやころう波佐 代表理事 岡本 利道 氏
大分	One for all , all for one !! 一人はみんなのために みんなは一人のために	(農)いわど 代表理事 野口 重徳 氏
高知	地域資源を活用した地域連携と持続可能な集落営農の発展	(株)サンビレッジ四万十 代表取締役 浜田 大彰 氏 (一社)四万十農産 代表理事 浜田 好清 氏 課長 鈴木 信太郎 氏
広島	法人合併による規模拡大のメリット・デメリット	(農)ファーム志和 代表理事 高木 昭夫 氏
山口	持続可能な経営体をめざして	(農)川西 代表理事 小林 紀代士 氏

- 2 講演：「持続可能な経営体をめざして ー地域を支える百年組織ー」
農山村地域経済研究所 所長 楠本 雅弘 氏
- 3 5県発表者と楠本所長によるパネルディスカッション
- 4 国への提案事項採択



山口県発表者
(農)川西 小林代表



農山村地域経済研究所
楠本所長



パネルディスカッション



国への提案事項採択
(向かって左から島根：糸賀会長、大分：坪根会長、山口：原田会長、高知：竹村会長、広島：高木会長)

○ 二部【交流会】



高重 翔 マジックショー

「5県サミット事務局会議」を開催しました。

- 開催日時：令和4年8月12日（金）13：30～
開催場所：山口県JAビル4階「共用会議室4」
出席者数：23名
- 開催日時：令和4年10月3日（月）13：30～
開催場所：山口県JAビル4階「共用会議室4」
出席者数：22名
- 開催日時：令和4年11月1日（火）13：30～
開催場所：山口県JAビル4階「共用会議室4」
出席者数：20名



5県サミット事務局会議を山口県と4県（島根・大分・高知・広島）をつなぐオンライン方式で開催し、各県の集落法人等連絡協議会事務局・関係機関等が出席しました。
会議では、令和4年11月8日（火）に山口市湯田温泉で開催予定の「5県（島根・大分・高知・広島・山口）集落法人等連絡協議会サミット」の開催計画等について協議しました。

「農業者団体と知事との意見交換会」に出席しました。

開催日時：令和4年8月9日（火）14：00～

開催場所：山口県立農業大学校「講堂」

出席者数：25名

農業者団体と知事との意見交換会は、共通する重点課題をテーマに知事と意見交換を行う事により、県の行政施策に理解を深め各団体の活動を強化することを目的として開催されました。

本協議会からは原田道昭会長と藤田芳昭副会長が出席し、「山口県農業を次世代につなげていくために」をテーマに意見交換を行いました。

村岡知事からは、「農業を次世代につなげていくためには、やるべき事がたくさんあると考えている。現状をしっかりと踏まえ、これから向かうべき方向を見定めて施策を組み立てていきたい。」との発言がありました。



村岡知事（前列中央）、原田会長（前列右から2番目）
藤田副会長（後列左から3番目）

「熊本県担い手育成総合支援協議会研修会」に出席しました。

開催日時：令和4年8月24日（木）13：00～

開催場所：山口県JAビル2階「特別小会議室」

出席者数：64名



JA熊本中央会をメイン会場として、熊本県内の県、市町村、農業公社、JA等の関係機関と山口県JAビルをつなぐオンライン方式で開催され、本協議会事務局から山賀担い手総合対策室長をはじめ7名が出席しました。

研修会では、依頼のあった「山口県集落営農法人連携協議会の現状と連携」についてJA山口県担い手総合対策室平田係長が、「法人連合体の事例」「事業承継への取り組み状況」についてはJA山口中央会農政対策部吉武次長がそれぞれ説明を行い、併せて質疑・応答を行いました。その後、「継続と成長のある地域営農法人とは」をテーマに、(株)農テラス 山下弘幸社長が講演を行いました。

「やまぐち農民塾・スポーツ大会」に参加しました。

令和4年7月16日（土）13：30より防府市に於いて、令和4年度やまぐち農民塾・スポーツ大会が開催され、百姓練磨の会メンバー4名が参加しました。

○ やまぐち農民塾【サンライフ防府】

(1) 講演：「最新農業技術について」

講師：アサヒクオリティードイノベーション(株)北川 隆徳 氏

(2) グループワーク

○ スポーツ大会【防府ゴールデンボール】



「消費税インボイス制度説明会」に出席しました。

開催日：令和4年9月27日（火）

開催場所：JAビル2階「共用会議室1」ほか県内各会場 出席者数：58名

農林水産省主催で、東京と各県会場をつなぐオンライン方式で開催され、本協議会からは58名が出席しました。



○内容

- 1 インボイス制度の概要について
- 2 インボイス制度の集落営農法人への影響等について
- 3 質疑応答

令和5年10月1日から消費税のインボイス制度が実施されることになっています。集落営農法人にあっては、作業委託料や従事分量配当を免税事業者である組合員へ支払った場合、これまでは仕入税額に含めることが可能でしたが、令和5年10月から段階的に、インボイス発行の登録を受けていない組合員へ支払った作業委託料や従事分量配当については、仕入税額控除ができなくなるため、従事分量配当を行っている集落営農法人は、インボイス制度に即した対応が必要となります。

「令和4年度視察研修」を実施しました。

開催日：令和4年10月25日～26日

行き先：広島県

参加者数：9名

初日は、広島県世羅町のおぐにフィールドを訪問しました。小迫代表より組織の概要・特徴取り組みなどについて説明を受け、その後質疑・応答を行いました。



小迫代表(左から2番目)と参加者のみなさん

おぐにフィールドの取り組みの中で、①全農と連携し地域の未利用資源である鶏糞を活用したブランド米「せらにしあきさかり」の生産を行い、施肥コスト低減を図っている事（鶏糞は、400 kg/10a施用）、また、連携事業の新たな取組として、鶏ふんの散布の効率化を図るための機械の導入もしている事などが特に参考になりました。

2日目は、東広島市のJA西日本営農技術センターに於いて開催の全農担い手アグリサミットに参加し、展示相談ブース・セミナー・農業機械の実演会などで有意義な1日を過ごしました。

